



桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2017-2018年度 国際ロータリーのテーマ

2018年

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

R.I 会長 イアン H. S. ライズリー



ロータリー:
変化をもたらす

善意というものがなければ
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。
パストガバナー 前原 勝樹

会長 前原 勝 幹事 園田 誠

クラブ会報・情報委員会

平岩千鶴子・木村洋一・山崎一順・牛腸章

5月14日号

第3067回例会

(第3067回・第3068回合同掲載)

(4月23日(月)第4例会)

1. 点 鐘
2. ロータリーソング斉唱
3. 来訪者紹介
4. 新会員入会式
桐生第一高等学校 校長 味戸 克之君
(1)推薦の言葉 前原 勝君
(2)バッチの贈呈
(3)歓迎の言葉 会長 前原 勝君
(4)新会員挨拶
5. 会長の時間
6. 幹事報告
7. 委員会報告
8. 卓 話 「桐生に来て」
カフェそしお 店主 平野 和弘様
9. 点 鐘

ようこそビジター

〈卓話者〉 カフェそしお 店主 平野 和弘様

新会員入会式



桐生第一高等学校
校長 味戸 克之君

会長の時間

《報告》

- ・4/9 桐生 5RC 女子会 田中一枝さん出席
- ・4/10 桐生赤城 RC メーク
桑原青少年交換学生カウンセラー
- ・4/11 家族会旅行 21 名
- ・4/15 第2分区分 A IM・田中ガバナー歓迎会
- ・4/16 4/15IM に振替の為、休会
- ・4/20 地区 IAC 国際交流歓迎会
桑原地区 IAC 直前委員長出席
- ・4/21 館林 RC 創立 60 周年記念式典
疋田パストガバナー・会長エレクト・幹事出席
地区補助金委員会 村田地区補助金委員出席
群馬大学理工学部留学生との交流会
群馬大学理工学部キャンパス 11 名出席
- ・4/22 早朝清掃 桐生が岡公園南口広場 午前8時
米山記念奨学カウンセラー
新規オリエンテーション 岡野カウンセラー出席

《予定》

- ・4/24 中之条 RC 創立 50 周年記念式典
松島会長エレクト出席
- ・4/27 未来企画委員会 家庭集会
- ・4/30 昭和の日振替休日の為、休会
- ・5/7 4/22 早朝清掃に振替の為、休会
- ・5/10 カーリング体験 正午 たつ吉出席
- ・5/13 2018-2019 年度地区研修・協議会
8 名出席 東洋大学板倉キャンパスにて
ゴルフコンペ 桐生 CC 16 名出席
青少年交換学生エヴァン君 須永家→柴崎家

幹事報告

- ・ガバナー事務所より「茶の湯研修会」のご案内が届いております。
- ・米山記念奨学会より「ハイライトよねやま」が届いております。
- ・日本てんかん協会より「からっかぜ」が届いております。
- ・桐生第一高等学校より入学式に際するお礼状と校長の退任、就任のご案内が届いております。
- ・桐生南、桐生西、桐生赤城の各RCより週報到着。
- ・次週 30 日(月)は、昭和の日振替休日の為、休会です。
5月7日(月)は、4月22日(日)の早朝清掃に振替の為、休会です。次回例会は、5月14日(月)となりますので、お間違えのないようお気を付けください。

委員会報告

出席委員会

本日の出席(平成 30 年 4 月 23 日)

総員 66 名:出席 39 名

平成 30 年 4 月 2 日例会修正出席率:75.41%

平成 30 年 4 月 9 日例会修正出席率:66.67%

ロータリー財団委員会

須永博之君 96 \$

米山奨学委員会

須永博之君 10,000 円

☺ ニコニコボックス

前原勝君…カフェそしお平野和弘様をお迎えして／前原勝君、岸田信克君…味戸克之君を新入会員にお迎えして／澤田匡宏君…過日の家族会旅行におきましては参加者の皆様のご協力のもと盛会のうちに終了することが出来ました。ありがとうございました／後藤圭一君…昨日行われた早朝清掃に多くのメンバーの皆様にご参加頂きありがとうございました／須永博之君…結婚祝／堀明君…誕生祝。

卓 話



「桐生に来て」

カフェそしお
店主 平野 和弘様

Leap before you look.

「見る前に跳べ」という英語のことわざです。大学教員から全く畑違いのカフェ経営に飛び込むというのはと、正にそんな心境でした。ノーベル賞作家の大江健三郎さんの小説のタイトルにもなっていますが、私が高校生のころにそういう作品があることを知り、「見る前に跳べ」というタイトルがとても印象的でした。事前に周囲をみたら跳べないというのは真実で、清水の舞台から飛び降りるときに下を見たら跳べないですね。

桐生にきてもう2年経ちました。当時の朝日新聞の記事をみると、大道記者のイメージでここまできれいにまとめられておりまして、何だか、これが私だとは信じられません。これを皆さんが読まれて期待をされると冷や汗ものです。ただ、私にとっては、この記事は初心をふり返るきっかけにはなりました。

大学では教育哲学を教えていました。現在の社会に子どもたちが適応できるようにすることも教育のひとつ役割ですが、教育哲学というのは、子どもという未来を生きる人々をテーマの中心におき、彼らが未来を生きることを見据えて教育は今何をすべきかを考える学問です。過去と未来をつなぐ分野ともいえます。現代社会をどう捉えるのか。これからのことを社会全般でどう見られるか？ これからの時代に子どもたちはどう生きてほしい

のか？ そんなことを常に考えながら研究してきました。

桐生に来てカフェを始めるにあたって、どんなカフェにするか、いろいろ考えました。記事の中にあるフェアトレードへの取り組みもその一つです。

きっかけは館林のアピタで開かれたイベントでした。東洋大学地域社会学部の子島(ねじま)先生が、ゼミの学生に海外協力、国際貢献を学ばせようと、学生にフェアトレードの商品を紹介するイベントを開かせたのです。多くのメディアも取りあげ、県内外から多くの人が訪れました。高崎健康大学にいたとき、私のゼミの一つでフェアトレードによる国際的支援を学生たちに調べさせた過程で子島先生と知り合っていた私も、このイベントの手伝いに駆り出され、どんどんフェアトレードに惹かれたのです。カフェを始めるのなら、ぜひフェアトレードを生かしたいと思ったわけです。

そんな想いを抱きながらカフェの世界に素人が飛び込んだのです。ここ数ヶ月、今までと違った新しいお客様も見えるようになり、店の将来展望が少し開けてきました。よく言われる3年続けば何とかなる…を信じて頑張っています。

店のことはその程度にして、2年間で感じたことを少しお話しします。

地元の皆さんは「昔の桐生はよかったが、今はね…」とよくおっしゃいます。どうやら、今の桐生には満足していらっしやらないというか、コンプレックスを感じていらっしやる様にも思えます。しかし、私に限らず外から来た人たちは、昔の桐生は知りません。歴史のある佇まいと自然が調和した今の桐生が素敵と思ってここに来ているのです。だから、地元の方々との間にこのギャップを感じます。

地域づくりが必要だといひます。地域づくりはBYW、つまり、ばか者、よそ者、若者の風にも触れながら、地元の人が中核になって進んでいくものですが、向かう先が昔の繁栄を取りもどすことでは将来は見えてこないのではないのでしょうか。これからの地域づくりには違った視点を持つ必要があります。

地域創生とか、街おこしというのが全国的なブームですが、都会のミニチュア版を作ることが地方の活性化につながるとは思えません。ミニ都会ではない地方の発展がイメージ豊かに求められているのではないかと思います。都会と地方どちらがという二者択一の考え方に別れを告げた上で、多彩なアプローチがあつていいと思います。

現在は文化と文明という二つの概念の対比がいわれています。文化=Culture は「耕す(cultivate)」から生まれた言葉です。人類は農業生活を基盤に定住生活を始め、文化を構築して来たと考えます。一方、文明=Civilization はラテン語で「都市(civitas)」を表していて、都市と地方の関係が色濃く反映されています。

産業革命の時は、両者を対立的に捉えていました。進歩主義的だったフランスは Civilization を優先する一方、まだ分裂していて後進的だったドイツでは Culture の方を大切にしました。ドイツの哲学がフランスの啓蒙主義的哲学にアンチテーゼを突きつけたのもその表れといえます。

Civilization が先導した産業革命以来の工業社会は、調和より対立が目立つ社会でした。1970年代から第2次産業の中で機械化が進んで雇用が減り、第3次産業人口が増加する変化が起こってきたといわれます。Post Industry = 脱工業化といわれますが、それから半世紀経った今でも脱工業化社会の像は、実は私達には見えてきていないのではないのでしょうか。最近、持続発展的な社会、自然と文明の調和という課題もいわれていますが、Civilization を基本にした未来像はなかなか見えてきていません。

こう考えてくると、従来型の産業社会的な価値観でいる限り、地方都市の未来は見えてこないだろうと思ふのです。

近未来も同じです。AI(人工知能)、IOT(もののインターネット)によって生産性が飛躍的に向上するといわれています。しかし、それは好ましいことなのか。「フォーブス」に投資アドバイザーが書いた記事がありました。第4次産業革命で生産性が向上する、と指摘するこのアドバイザーは、同時に雇用が減り、ついには作ったものを買う人がいない、つまり市場が縮小すると指摘しています。市場が縮小しては資本主義社会は発展できません。今の経済の中核にいる人もこのような見通しか持てなくなっているのです。Civilization の限界が表れ始めているのではないのでしょうか。

では、どうすればいいのか。私も暗中模索を続けています。まだ答えは見えませんが、従来型ではない発想を共有する方々と一緒に、梅田の山里で答えを求めていきたいと思ふます。

本日のお食事



よしのや

❀ 本日のお花 ❀



桐生 5RC チャリティーゴルフコンペ寄付金
桐育乳児園 施設長 品川様へ贈呈



遠藤ガバナー補佐・桐生南 RC 和田会長・八木橋幹事

桐生5RC合同
群馬大学理工学部留学生との交流会
平成30年4月21日(土)
群馬大学理工学部キャンパス生協ホール
午後5時～

今年度は、桐生南 RC が幹事クラブとなり恒例の群馬大学理工学部留学生との交流会が開催されました。



カーリング体験
平成30年5月10日(木)
軽井沢アイスパークにて

職業奉仕委員会でカーリング体験会を開催致しました。参加者 16 名でたつ吉を正午に出発しまして、軽井沢アイスパークにてカーリングの体験を行いました。





桐生ロータリークラブ週報

国際ロータリー第2840地区 2017-2018年度 国際ロータリーのテーマ

2018年

ROTARY: MAKING A DIFFERENCE

R.I会長 イアンH. S. ライズリー



ロータリー：
変化をもたらす

善意というものがないなら
ロータリークラブは唯の社交クラブだ。
職業は金儲けのためでしかなく、
社会奉仕というも施しにすぎず、
国際奉仕は外交以外の何ものでもない。

パストガバナー 前原 勝 樹

会長 前原 勝 幹事 園田 誠

クラブ会報・情報委員会 平岩千鶴子・木村洋一・山崎一順・牛脇章

第3068回例会

(5月7日(月)一例会変更一)

桐生が岡動物園南口広場早朝清掃

平成30年4月22日(日) 午前8時

恒例の社会奉仕事業の早朝清掃を、昨年度に引き続き桐生が岡動物園南門広場にて行ないました。ローターアクトクラブ、インターアクトクラブの皆様のご協力もいただき、ごみ拾いと草むしりを行ないました。ご参加・ご協力いただきました皆様どうもありがとうございました。

